

アドビシステムズ社、ビジネスプロセス管理スイート部門の マジッククアドラントにおいて 「リーダー」クアドラントに位置づけられる ビジョンの完全性とその実現能力をもとに評価

【2010年10月28日】

米国カリフォルニア州サンノゼ発（2010年10月26日）Adobe Systems Incorporated（NASDAQ: ADBE）（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビシステムズ社）は、本日、ガートナー社が発行した2010年「Magic Quadrant for Business Process Management Suites（ビジネスプロセス管理スイート部門のマジッククアドラント）」レポート*において「リーダー」クアドラントに位置づけられたことを発表しました。

ガートナー社によると、「リーダーとは、4種類の利用シナリオにおけるすべてを強く促進する製品とサービスを提供する企業で、その一つひとつについて顧客のコメントがあった企業」としています。このようなベンダーは、従来のようなコーディングではなく、モデル駆動型のアプローチを実現することにより、プロセスの改善において自社が必要としている役割を強化できる企業のことです。リーダーの製品やサービスは事業プロセスの管理者と協力してプロセスの改善や変革を推進する事業プロセスを分析することを重視します。リーダーの製品を採用すると、発見からデザイン、モデル作成、そして、実装から継続的な最適化まで、ビジネスおよびITを専門とする人々が最高レベルのコラボレーションを行えるようになります。顧客の証言からは、プロセス、作業項目の可視性、および迅速な調整などを重視する傾向が見受けられます。そうであるにもかかわらず、ビジネスユーザーに大幅な変更管理権限を与える組織はほとんどないというのがBPMS利用の特徴といえます。

アドビシステムズ社LiveCycle担当バイスプレジデント兼ゼネラルマネージャのクマール（Kumar Vora）は、「今回、ガートナー社のBPMS部門の『リーダー』クアドラントにアドビシステムズ社が位置づけられたのは、エンタープライズ各社がWebやモバイルを利用する際に直観的にわかりやすいプロセスを提供し、顧客の体験を大きく改善することにより生まれた、市場における大きな動きを反映したものだと思います。当社ではBPMに対して利用者中心のアプローチを採用していますが、その結果、顧客に対するプロセスを自動化するとともに可視性を高めてサービスを改善し、高いROIを実現することが可能になりました。これによって、今回、『リーダー』クアドラントに位置づけられたことはアドビシステムズ社にとっても大きな喜びです」と述べています。

Adobe® LiveCycle® Enterprise Suite 2（ES2）を活用すると、複数のチャネルとデバイスのいずれにおいても一貫した体験を提供し、ロイヤリティを高めると同時にコストと時間は削減し、市場において差別化を実現することが可能になります。LiveCycle ES2はアドビシステムズ社のCustomer Experience Management戦略の核となる製品で、高性能な電子文書フォーマットであるPDFはもちろん、広く普及したAdobe Flash® Platformを活用して直観的にわかりやすいリッチインターネットアプリケーション（RIA）を配信することにより、カスタマーサービスを改善するとともに人と文書を中心としたプロセスをスリム化して運用

効率を高めることができます。このような機能を活用すれば、手作業や重複作業を減らし、顧客と最前線で働く社員の体験を総合的に高めることができます。

BPM ソリューションに対する需要は、2010 年にはいつても高まりつづけています。ガートナー社は、次のように指摘しています。「多くの組織が BPM を採用しているだけでなく、BPM を企業全体にわたる統制されたプログラムにしようと努力しています。BPM の手法や技術を単一のプロジェクトに適用するだけにとどまらなくなっているのです。このため、市場をリードする BPMS 製品は、事業プロセス改善のライフサイクル全体を通じて BPM をサポートする必要があります。」

評価基準としては、継続的なプロセス改善プログラムに対する支援、各業界あるいは各社に固有のプロセスソリューションの実装実績、ビジネス改革を促進する取組に対する支援、プロセスベースのサービス指向型アーキテクチャ (SOA) の再設計に対する支援などが使われました。なお、今回の研究報告では、アドビ システムズ社ほか、全部で 25 社のベンダーが評価の対象となりました。

Adobe LiveCycle ES2 に関する詳しい情報は、<http://www.adobe.com/jp/products/livecycle/> をご覧ください。

*「Magic Quadrant for Business Process Management Suites 2010 (ビジネスプロセス管理スイート部門のマジッククアドラント 2010 年版)」ージム サイナー、ジャネル ヒル、ガートナー社、2010 年 9 月 30 日

マジッククアドラントについて

本マジッククアドラントは 2010 年にガートナー社が著作権を取得しており、その許諾を得て再利用しています。マジッククアドラントは、特定の時点や期間における特定の市場を模式的に表現したものであり、ガートナー社が定めた基準に照らし、当該市場におけるベンダーをガートナー社が分析・評価した結果です。ガートナー社は、マジッククアドラント内に掲載された特定のベンダー、製品またはサービスを推奨するものではありません。また「リーダー」クアドラント内に位置付けられたベンダーのみを選択するようテクノロジーの利用者に助言するものでもありません。マジッククアドラントは研究に利用することのみを目的としたものであり、特定の行為に導くためのものではありません。ガートナー社は、明示または黙示を問わず、本リサーチの商品性や特定目的への適合性を含め、一切の保証を行うものではありません。

アドビ システムズ社について

アドビ システムズ社は、時間や場所、利用するメディアや機器を問わず、あらゆるユーザーの、アイデアや情報との関わり方に変革をもたらしています。アドビ システムズ株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイトに掲載されています。